



第4号議案

特定非営利活動法人SEIN

2023年度事業計画書（案）

事業期間：2023年4月1日～2024年3月31日

2023年度 事業計画書（案）

（1）2017年度より10年間の長期計画

地域の多様なステークホルダーと共に、課題解決と理想実現を目指して集合知を生み出しながら活用する手法（コレクティブ・インパクト）を用いて、誰もが本当の豊かさを追求できる「役割と稼ぎがめぐりめぐる地域社会」づくりに取り組みを進めています。

（2）長期計画を実現するための当面の取組み

長期計画を実現するために、泉北ニュータウンに焦点を当てた活動に取り組みます。またニュータウンに限らず、「南大阪」のエリア価値向上に向けた事業を展開することで、より広範囲の都市再生、地域再生につながると考えます。

今後10年を考えた時に、日本社会で増加・拡大しそうな課題として次のものがあります。

- 多様な社会課題に対応できる担い手育成
- 若者の定住促進に偏った人口施策
- 地域の新たな担い手としての女性の参画機会と事業の継続性
- 介護の担い手の確保と健康づくり
- 貧困世帯へのサポート

□地元で生まれた若者へチャレンジの支援(働く場/チャレンジできる機会の提供等)

また、2019年度より、全世界に新型コロナウィルスが蔓延しました。コロナ禍の地域社会ではこれまで想定していた課題がより顕在化し、状況は深刻化、さらに格差社会が広がり、社会的弱者と呼ばれる人たちの孤立化も進みました。多様な組織がパートナーシップを組んでこの難局を開拓していく重要性がさらに増しており、私たちもさらに取り組みを深めていく必要性を感じています。

こうした課題の解決に向けた可能性を持つ資源が豊富だと考えているニュータウンにて、私たちのミッションである、「役割と稼ぎがめぐりめぐる地域社会」づくりに集中し、まずは「ニュータウンで地域に根ざす小さな経済を生み出しながら、これから地域コミュニティの再構築をする」を茶山台で実現していくことにさらに邁進していきます。

（3）2023年度の事業実施の方針

茶山台団地の中で、役割と稼ぎが生み出せる環境も生まれてきており、担い手も増えてきつつあり、今後の「団地型自治の進化・モデルづくり」のモデル作りに手応えを感じてきています。ただ、私たちの感覚でしかすぎないため、改めて 今年度は特に、事業実施するだけではなく、2017年度より掲げてきた10年間の長期計画、そしてそれを実現するための当面の取り組みがどこまで実現できているのかについてふりかえり、これから5年、何に注力していくかについて今後の事業展開やSEINの方向性について考えていく時期になりました。2023年度は理事会や担い手、パートナーとの対話の場を積極的に取り、長期計画の残り5年についての方向性を定め、評価指標となる、アウトカム、アウトプットの設定について、検討していきたいと考えています。

重点事業:茶山台校区の団地型自治の進化・モデルづくり

茶山台とよかんは6年目、やまわけキッチンは5年目に入り、茶山台校区のコーディネート+住民の見守り機能を果たしています。基盤が弱体化している自治会や校区福祉委員会などの地域組織のアップデートや、茶山台全体としての取り組みに対して、もう一步踏み込み、小学校単位の地域のプラットフォーム支援(活動記録の共有・発信・基本的な運営事務の構築・効率化・地域福祉の目的に沿った組織再編・コミュニケーション円滑化)に取り組み、持続可能な地域のモデルづくりに取り組みます。

II 事業の実施に関する事項

重点事業:「茶山台校区の団地型自治の進化・モデルづくり」に関連する事業

A. 茶山台集会所を活用したコミュニティ支援

大阪府住宅供給公社との協働（委託）事業 主な業務は「茶山台としょかん」の開館
週3日（水・金・土）に開館。としょ係は現在5名。

B. 団地の空室を使ったコミュニティ支援。

公社茶山台団地の一室を、自主事業として「丘の上の惣菜屋さん“やまわけキッチン”」を週4日（月・火・金・土）営業。スタッフは現在3名。

C. 茶山台団地における地域のプラットフォーム構築

地縁組織の強みを活かした、地域づくり的側面や福祉的側面のネットワークの基盤を強化します。そのために、2022年度に立ち上げた新たに住民主体のNPO法人と共に、その法人が軸となり、茶山台団地の自治を育むための基盤とプラットフォームを作ります。そのプラットフォームのプロセスとSEINのゴール設定とを鑑みて、これから茶山台での関わりや、今後の事業展開について検討します。

D. 外部評価

理事会や担い手、パートナーとの対話の場を積極的に取り、大学の研究機関なども活用し、SEINの関わりが茶山台校区にとってどういう成果を生み出しているのか、「役割と稼ぎがめぐりめぐる地域社会」づくりについてどこまで検討できているのか、についての外部評価を行います。

<参考>定款上の事業内容に沿った今年度予定している事業は以下の通りとなります。

No.	事業名	事業実施について	財源	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	2023年度予算
(1) エリアの価値向上に取り組む							
1	泉ヶ丘駅前エリアマネジメント事業	●つながるdaysの事務局・コーディネート	委託事業（南海電鉄）	通年	泉ヶ丘駅前	3名	1,986,280
		●つながる食堂の運営・コーディネート	運営（自主財源）・固定費の一部（南海電鉄）	通年	泉ヶ丘駅前	1名	940,000
2	河内長野駅前エリマネ	●商店街のエリアマネジメント事業	補助金事業	通年	河内長野駅前	1名	2,300,000
(2) 事業者・市民の協働プラットフォームづくりに取り組む							
1	和泉市生涯学習センター「いずみ市民大学」まちづくり学務業務	●いづみ市民大学のコーディネート・人材育成	委託事業（JTBコミュニケーションズ）	通年	和泉市	1名	2,388,000
2	河内長野市健康づくり推進	●河内長野市保健センター 健康づくり推進員のネットワークづくり	委託事業	通年	河内長野市	2名	80,000
(3) 地域の居場所づくりに取り組む							
1	茶山台集会所を活用したコミュニティ支援	●大阪府住宅供給公社との協働事業 茶山台としょかんの開館	委託事業	通年	茶山台	5名	2,424,000

2	やまわけキッチン運営事業	●団地の空室を使ったコミュニティ支援	自主事業	通年	茶山台	4名	3,500,000
3	住民自治によるコミュニティ支援事業	●特定非営利活動法人団地ライフラボat茶山台のコーディネート&バックオフィス業務	委託事業	通年	茶山台	1名	3,199,500
4	新しい自治会の仕組み事業	●トヨタ財団の研究助成に応募する。茶山台団地再生への評価と時代に合わせた住民自治の仕組みについて	助成金事業	通年	茶山台	3名	8,000,000
3	茶山台団地の視察対応事業	●大阪府住宅供給公社からの委託事業 公社に依頼のある視察の対応業務	委託事業	通年	茶山台	2名	60,000
4	咲つく南花台支援事業	●事業に持続性を高める事業構築支援 支え合い組織の法人化に向けた支援	NPO法人	通年	南花台	1名	24,000
5	視察受け入れ(オンライン化)	・ 視察のオンライン受け入れ	自主事業	通年	泉ヶ丘を中心とした泉北ニュータウン	3名	108,000
(4) 地域の困りごと解決事業							
1	事務局支援事業	●泉北のまちと暮らしを考える財団 ●場とコトLAB ●観濱クルーズSakai ●地縁組織支援	自主事業	通年	堺市内	2名	1,530,000

②コミュニティカフェ運営事業

2022年度は実施しない。

③広域協働促進事業

No.	事業名	事業実施について	財源	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定期数	2023年度予算
1	協働する市民活動のバックヤード支援事業	●災害時のクラウドファンディング立ち上げ	自主事業	通年	全国	1名	0
2	NPOとICT企業のツールの流通網整備事業	●ICTアワード大賞などの事務局	助成金事業	通年	全国	2名	200,000

④その他、目的を達成するための事業

No.	事業名	事業内容	財源	実施予定日時	実施施予定場所	従事者の予定人数	2023年度予算
1	講師派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> ●河内長野市生涯学習関連の取り組み ●桃山学院大学地域連携機構連携授業 <ul style="list-style-type: none"> ・大阪ええまちアカデミー講師派遣 	自主事業	通年	全国	2名	1, 948, 300

計	35名	24, 751, 580
---	-----	--------------